

# 橋梁の長寿命化対策

株式会社エイト日本技術開発  
 インフラ保全センター

☎ 03-5341-5142

URL <http://www.ejec.ej-hds.co.jp/maintenance.html>

✉ [azuma-ko@ej-hds.co.jp](mailto:azuma-ko@ej-hds.co.jp)

## はじめに

わが国には道路橋が約 70 万橋存在します。このうち、高度経済成長期以降に集中的に整備した橋梁が今後急速に高齢化し、10 年後には建設後 50 年経過する橋梁が 4 割以上になると見込まれています。

近年、国内外で橋梁の重大損傷事故が発生しています。とりわけ 40 年程度経過した橋梁で大きな損傷が発見されており、わが国でも重大事故発生への危惧が現実のものとなってきました。

一方、公共投資の伸びが十分に期待できない現状では、膨大な道路資産である橋梁を良好な状態に維持管理していくことが課題であり、そのためには、既設橋梁の状態を適切に把握し、予防保全の観点から戦略的に補修・補強を行うことで橋梁の長寿命化を図ることが必要になります。

当社では、橋梁の長寿命化対策として、次のようなサービスを提供しています。

健全度診断は、点検結果や調査結果に基づき、橋梁に生じた損傷の種類、位置、範囲、程度などから橋梁の安全性への影響を判断し、対策の必要性の診断を行います。

### ② 長寿命化対策

例えば、実施例として、国指定の重要文化財に指定されている勝鬨橋（東京都）に対して、鋼部材の耐腐食対策を行いました。

具体的には、腐食状況の調査、排水系統の調査、塗装履歴や塗装種類の調査などを行い、その結果に基づき耐腐食対策を行ったものです。



写-2 国指定の重要文化財 勝鬨橋（東京都）

## 提供サービス

### ① 点検・調査・健全度診断

点検は、主に国が定める統一的な基準により、5 年に 1 度、近接目視による実施が義務化された橋梁定期点検を行います。



写-1 橋梁点検車による点検状況

調査は、健全度診断を行うための基礎資料として、コンクリート強度などの試験、塗膜に含まれる有害物質の分析、コンクリート内部のひびわれや空洞の調査などを行います。

調査項目	調査内容	調査結果
鋼部材腐食状況	鋼部材の腐食状況、錆の発生状況、錆の発生位置、錆の発生量	腐食状況、錆の発生状況、錆の発生位置、錆の発生量
排水系統	排水系統の調査、排水口の詰まり状況、排水口の清掃状況	排水系統の調査、排水口の詰まり状況、排水口の清掃状況
塗装履歴	塗装履歴の調査、塗装の種類、塗装の回数、塗装の年月	塗装履歴の調査、塗装の種類、塗装の回数、塗装の年月
その他	その他	その他

図-1 塗膜履歴調査結果

### ③補修・補強設計

既設橋梁を長期に渡り安全・安心に通行するために、機能の回復あるいは最新の基準に適合した機能向上を目的とした補修・補強設計を行います。

なお、対策の時期や工法についてはトータルコスト、周辺環境や交通条件を考慮して決定します。